



子どもを守ろう！
小・中学校児童生徒の
通学補助員

▼対象 次の全てに該当する方①市内在住の方②心身ともに健康な方③確実に市内の誘導箇所に行くことができる方▼募集人数 若干名▼勤務日時 原則、月々金曜日午前7時30分～8時30分※勤務日時の変更あり(土・日曜日、祝日に学校で特別行事がある場合/児童生徒の通学時間の変更が生じた場合など)▼業務内容 児童生徒が登校する際の交通安全を確保するため、交通危険箇所立っての街頭誘導など▼勤務場所 市内各誘導箇所▼賃金 1回(1日)当たり1700円

▼申込方法 申込用紙(市役所学校教育課、中央・郷州・高野・北守谷の各公民館、保健センター、文化会館、または市ホームページから取得)に必要事項を記入し、3月8日(金)までに直接窓口提出する

▼申込・問合せ先 市役所学校教育課 教育総務G 内線284、285



茨城県明日の地域
づくり委員会委員

▼内容 ①委員会(月1回程度)で地域づくりについて話し合い、2年目に提言をまとめる②現地研修会(年1回程度)③「いばらき創り1000人委員会」の一員としての活動▼任期 2年(委嘱日平成27年3月末日)▼謝礼 委員会活動に対し県から一定額の謝礼▼募集人員 15人▼応募資格 県内に住所を有する方※地方公共団体の長および議員、常勤の公務員、過去4年以内に明日の地域づくり委員会委員を経験した方を除く▼応募方法 応募用紙(市役所秘書課または県南県民センターホームページから取得)に必要事項を記入し、2月28日(木)(消印有効)までに県南県民センターへ郵送等で応募する

▼応募・問合せ先 県南県民センター県民福祉課 〒300-0051 土浦市真鍋5-17-26 ☎029-822-7026 <http://www.pref.ibaraki.jp/kennin/kennan/>



皆さんもご存知かもしれませんが、守谷市が「2012年リブコム住みよいまちづくり国際賞」の自治体賞B部門(人口2万人超7万5千人以下の部)で上位銀賞を獲得しました。私は通訳担当として、会田市長、作部屋義彦(やくべのりよ)市長、光協会会長とともに、昨年11月22日～26日にアラブ首長国連邦のアル・アイン市で開催されたリブコムの最終審査会に参加しました。今考えてみても、夢のように、信じられない経験ができたと思っています。

私は子どものころ、モロッコに旅行したことがあります。また、ベルリンにもイスラム教徒の人々がいます。それでも、リブコムの事業でこんなにもエキゾチックな所に行くことができ、一生で一度の経験かもしれないと感じました。もちろん、観光に行ったわけではありませんが、他の国に行っただけでも、日本やドイツと異なる点に気付かされました。

例えば、ドバイ国際空港から砂漠の中にあるアル・アイン市のホテルへの移動中も、面白いことをたくさん発見しました。建物もその一つです。伝統的ではないなモスクや世界一高いビル「ブルジュ・ハリールファ」、ドバイの超近代的なスカイライン、市内の少し古いアラブの家など、対照的な建物が共存しているという印象を受けました。

アウトバーンがあるドイツに生まれた私にとって、アラブの道が特に印象的でした。高速道路は平均4車線あり、一般道が3車線です。道路が広く、よく交差点の代わりにロータリーがあります。このロータリーに向かってほとんどの運転手が速度制限を無視して走るので、信号は少なく、あつたとしても道を渡るの



は非常に危険で、スリルのある経験になります。この国では人が歩かないように、道を渡るためには走るしかなかったです。(汗)

アラブで一番異なる点は、やはりイスラム教で禁止されているお酒だと思いました。私はお酒を飲まないのですが、気になりませんでした。私はお酒を飲まないのですが、西洋の団体が主催で行われたリブコムの事業でも、開会式から授賞式の終わりまでビールやワインを含めた乾杯のお酒さえも出てきませんでした。とても珍しいなと感じました。「郷に入つては郷に従え」なのです。(笑)

話は尽きないのですが、今回はここまでにします。私はアラブに行かせていただき、新鮮な多くの経験ができ、とても感謝しています。本当にありがとうございます。